

# 生活者ネット 市民の会 会派ニュース

■発行：生活者ネット・市民の会 ■発行日：2014年5月11日 ■発行責任者：向井佳穂里  
 ■連絡先：〒206-8666 多摩市関戸 6-12-1 多摩市役所 生活者ネット・市民の会 Tel.042-373-2752  
 ■HP 多摩・生活者ネットワーク：http://tama.seikatsusha.me/ 佐久間むつみ：http://www.sakuma-mutumi.jp/

## 多摩市3月議会 2014年度予算審議

### 予算案が可決成立!! 第5次総合計画2期目スタート

2014年度一般会計予算が、前年度比1.3%減の498億5500万円で可決されました。介護保険特別会計(約77.8億円)、後期高齢者医療特別会計(約27億円)など前年度比増額の特別会計を含む全体でも793億8284万円と前年度を下回ります。法人市民税の国税化などの先行き不安を睨みながら、第5次総合計画第2期への歩み堅実にスタートしたといえます。歳入では諏訪2丁目建替による市民税や、固定資産税の増で市民税が5.8億円増。また消費税増税に伴い臨時給付金等が計上されましたが、低所得世帯や子育て世帯にただ一度、1万円配る5億円の効果は疑問。歳出では、建設現場の人件費、資材費の高騰に今後も注視が必要だが、総合体育館などの建設終了に伴い普通建設費が約14億円減。

#### 新事業 子ども子育て会議(注) 進行中

知恵を出し合い子どもの多様な支援を!

平成27年度には子育てに対する新しいシステムが実施される為、法律により「多摩市子ども子育て会議」が行われています。市民委員を含め15人の構成です。3年前に比べると、母親の就労割合が5割を超えるなど、社会的変化がみられます。平和な社会に生きる幸せな子育てを



子育て支援の拠点となる「たまっこ」

図る市民の責任があると考えます。尚、子育て総合センター「たまっこ」はNPO法人多摩子ども劇場に運営委託されました。

(注) 質の高い幼児・学校教育の提供、地域の子育て充実、待機児童の解消などの目的のために設置された。

#### 新事業 障がい者の雇用が一步前進

多摩市チャレンジ雇用「ハートフルオフィス」事業

会派では2年前に、市役所も一事業者として、知的・精神障がい者の雇用を進めている山口県宇部市の視察を行い、多摩市でも障がい者の雇用・就労をさらに推進するよう求めてきました。それを受



宇部市役所ワークステーション 庁内の業務依頼を集める

けて、新たに市自らの取り組みとなる、多摩市チャレンジ雇用(注)「ハートフルオフィス」事業が実施されることになりました。多摩市ではこれまで、障がい者の雇用・就労を促進するための一つの施策として、市役所内で発達障がいのある方を対象に庁内実習は実施してきましたが、知的・精神障がい者の方々の雇用は初めての取り組みとなります。

#### 市役所の雇用が実現

本事業は、3年以内の雇用で、市役所内での事務補助及び軽作業の業務経験を通じて、一般企業への就職の実現を図ることを目的としています。雇用形態は非常勤一般職で、時給は903円、勤務時間は1日5時間、月曜から金曜の週5日、土日祝日などの他、就職活動の休暇も認めています。障がいの有無に関わらず、誰でもが働くことに生きがいを感じながら暮らすことのできる、笑顔あふれる街づくりが大切です。

(注) チャレンジ雇用とは、国の各府庁や各自治体において、障がい者を1年以内の期間を単位として短期雇用し、1年から3年の業務の経験を踏まえて一般企業への就職の実現をはかるもので、国が推進している。

#### 会派で活動 『3.11 フクシマを忘れない 原発がない未来をアクション in TAMA 2014』に参加



#### ■脱原発への行動はゆるめない!!

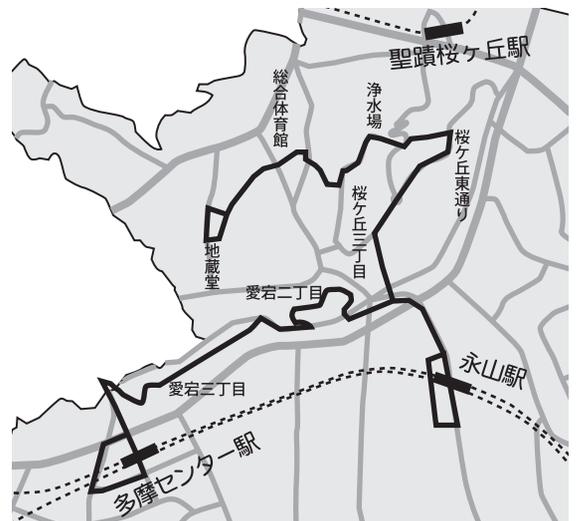
福島原発事故から3年以上経過しているにも関わらずメルtdownした3基の原発はその廃炉への道筋さえ今だ不透明です。しかし、安倍首相はエネルギー基本計画に原発をベースロードと位置付け再稼働に向けて意欲的です。将来に向けて地球環境を考えるならば史上最悪の原発事故を起こした国の責任として自然エネルギーへの転換を明確に示すべきです。原発廃止に向けての行動は目的が達成するまで続けていきます!

#### 6月議会日程 議員の仕事傍聴に行こう 議場は市役所4F/ユーストリーム中継もあり

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 9日 改選を果たした阿部市長の所信表明 | 20日 生活環境常任委員会      |
| 9~13日 一般質問          | 23日 子ども教育常任委員会     |
| 16~17日 補正・条例等       | 24日 代表者会議          |
| 18日 総務常任委員会         | 25日 議会運営委員会        |
| 19日 健康福祉常任委員会       | 27日 最終日(6月議会の最終決定) |

#### ミニバス 南北線のルートが変更されます

ミニバスの運行には南北線に約1,600万円(1台)、東西線には約2,400万円(4台)の補助金を支出しています。南北線は、東西線に比べて年々利用者が減少しているため、効率的で使い勝手がよく、必要とされる地域に運行されることを目指し、多摩市ミニバス検討委員会を設置して、課題解決に向けて検討が進められてきました。新ルートでの運行は9月下旬頃からの予定です。ミニバスの運行事業は運行事業者側に生じた運行経費から運行収入を差し引いた不足分を補助金として交付している性格上、多くの方々にミニバスを利用していただくことが大切です。ぜひ、日頃のお買い物やお出かけの足としてご活用下さい。



# 3月議会報告

**代表質問** 第1回定例会初日に行われる市長の施政方針に対し、3名以上の会派の代表が「代表質問」を行うことができます。  
**予算審議** 予算決算特別委員会では3月に予算審査が、9月に決算審査が行われます。質問時間は議員一人30分（変更の場合あり）。会派ごとに合計時間内で質問できます。  
**一般質問** 市政一般について、議員が一人で質問できる権利で、一人30分以内（変更の場合あり）で行われています。



## 佐久間むつみ

**近況**●政治への怒りは、しなやかな心と体で表さなければならぬので、最近はやさしく毎朝ラジオ体操に励んでいます。気分はずっつきり、頭も回ります。

### 会派代表質問

#### ■市民主権のまちづくりを

3人の話し合いから、①市長は市民主権・市民参加の市政をめざしていると言っているが、市民をどう考えているか、今後市民との対話の手法を改善する考えはないか。②地方主権を守る立場から取り組まれた平和都市宣言、男女平等条例、公契約条例の具体的な課題展開を今後どのように進めるか。③国家覇権主義の台頭に対して、地方自治体としての主権をどう貫くか。④財政自主権の確立をどう図るか。

#### ■次世代に託すもの

⑤子どもたちの未来づくりについては「子ども・子育て会議」に多摩市の独自性をいかに打ち出すか。子育ての拠点としての児童館の今後、「子ども議会」の発想、教育委員会の役割と国の動き。⑥若者たちが住みたくなる魅力と社会的条件が備わる街への積極的な取り組み。若者たちが抱えている社会的リスクについて、自殺防止などの取り組み。⑦多摩ニュータウンの再生及び公共



▲公共施設の見直しで住民の関心が高まっている豊ヶ丘図書館（児童館・学童クラブ・福祉館・市民ホールが併設）

施設見直し方針行動プログラムの相関が大事であり、市民に身近な公共施設の再編が先行していることが市民の不安を呼んでいる。公共住宅の老朽化と高家賃の問題解決はニュータウン再生にとって先行すべきことである。

#### ■持続可能な社会を

⑧環境政策における重要な視点について、生物多様性の保持、市内河川の浄化と湧水保全、放射能汚染と電磁波被ばく、再生可能エネルギーと地産地消エネルギー確保の可能性とリスク、緑のルネッサンスの目標達成について。市長からは市民主権と地方主権を貫く立場から課題解決に当たると前向きな答弁あり。



## 向井かおり

**近況**●苜ごはんが大好き！あく抜きの糠や酒、みりん…。実は見えないところで田んぼに支えられているんですね。

### 予算意見討論

#### ■未来を展望した施策を

市の取り組みを市民が評価する行政評価市民フォーラムや、現在進められている公共施設の見直しは、いづれも中長期の展望をもって臨むべきものです。将来の担税者である子どもや若者の参加を得る努力と、市民性を育む視点こそ最も大切にすべきです。

育委員会にも市長部局と連携する姿勢を求めました。

#### ■自然との共生は人類の課題

ミニバス運行は使いやすい、経済性を検討するとともに、持続可能なシステムを改めて検討すべきです。環境啓発事業では、省エネや自然エネルギーへのシフトだけでなく、エネルギー消費社会そのものの見直しを問う姿勢で臨んでいただきたい。昨年度には下水道課と環境政策課の連携により、田んぼの生きものへの配慮がなされた水路改修が行われました。生物多様性確保の視点が芽生えてきたことを評価し、参加型で楽しめる自然環境実態調査など、市民が自分のまちと向き合う機会創出を求めました。



▲一の宮の新しい水路での生き物調査（2014年4月26日）

多くの市民から問い合わせが相次いだ街路樹伐採については、交通安全と将来負担の说得だけでなく、目に馴染んだ通りの景色そのものの将来像を、市民と共有する努力を強く求めました。対話と参加を重んじる、自治するまちづくりへの情熱を市長に求めました。



## 星野なおこ

**近況**●お休みの時に、公園や野山散歩をしています。旬の野菜や魚を使った料理、圧力鍋を使った料理にはまっています。料理はホームページでも紹介しています。

### 一般質問

#### ■成熟期の緑をどうするか、市民の積極的な関与がカギ

昔ながらの多摩丘陵のまともな環境を維持し、ニュータウン事業によって新たに創出した環境を作り出していること、私たちが街づくりに大きな影響を与えています。昨今では、大きく生育した樹木が防犯や交通安全の面で好ましくない状況を作り出し、台風による倒木も多発しました。多摩ニュータウン開発から40年が経過し、大きく成長した公園や街路の樹木をいかにして活性化し、街づくりにつなげていくか、高齢者から子どもまでの知恵と力を結集した地域力でその解決策を見出すための方策として、3年間を多摩市みどりのルネッサンス「量から質への転換」の取り組みが始まりました。市民が主体となったみどりへの取り組み体制や活動の道筋をつくるみどりのルネッサンスを進めていくには、行政からの声掛けによる関わりだけでなく、市民からの積極的な参加が欠かせません。公

#### ■全般を見据えた計画的な管理を

委託業者の専門性を十分に生かした契約内容に見直し、公園緑地の樹木の適正管理に努めるよう改善を提案しました。現在、多摩市では市の将来を展望しながら、これからの公共施設の在り方と施設の再編について検討を始めています。公園の計画的な維持管理も同様に重要です。公園の樹木をデータベース化し、公園施設長寿命化計画の策定に向けた取り組みを行うよう求めました。



▲豊かな緑の瓜生緑地。それゆえに防犯上見通しが悪いとの声も